Market Letter 情報提供資料

ユーロ圏金融政策（2026年10月）

市場予想通り中銀預金金利を2.5%に据え置き

2026年10月30日

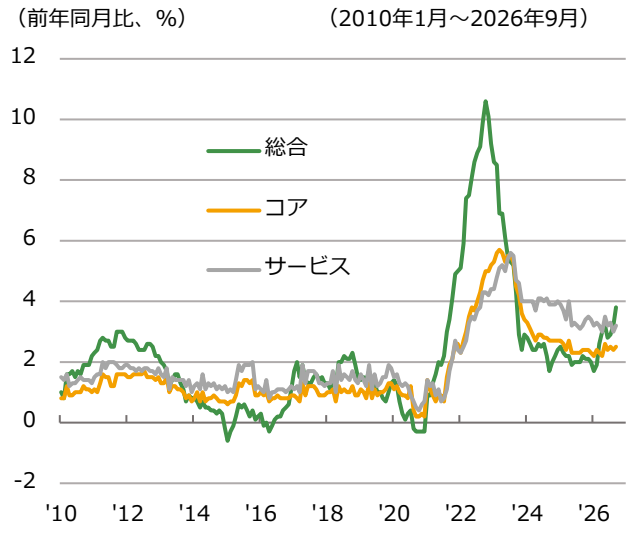
ラガルド総裁が12月の理事会での追加利上げを示唆

ECB（欧州中央銀行）は10月28･29日（現地）の理事会で、現在の主たる政策金利である中銀預金金利（銀行がECBに所要準備を超えて預ける資金の金利）を市場予想通り2.5%に据え置きました。昨年6月に2%へ引き下げて以降据え置いていましたが、今年6月と9月に利上げを実施していました。

声明文では、エネルギー価格上昇の影響は今後も及んでくるが、これまでのところ基調的なインフレ率は安定したままで、現段階で賃金にも目立った反応はみられていないとしています。これが今回の据え置きの主たる理由です。一方で、エネルギー価格上昇がインフレの上振れと成長の下振れリスクをもたらすこと、また、金融環境の引き締まりはインフレと成長を下押す公算が大きいことにも言及しています。

ラガルド総裁は記者会見で、今回の決定は全会一致だったものの、利上げの是非について議論したことを明らかにしました。また、金融政策はデータに基づき会合ごとに決定するとの姿勢を改めて示しつつも、次回12月の理事会までに得られる多くのデータで現在の評価に変化がなければ「政策の方向は明らか」とし、12月の追加利上げを示唆しました。フランスの債券利回りの上昇に関しては、望ましくない無秩序な市場の動きが金融政策の円滑な伝達を脅かすことになれば対応する手段はあり、その基準や条件はよく知られているとの原則論を述べるに留めました。なお、ラガルド総裁は2027年10月までの任期を前倒しして2月に退任する意向を明らかにしましたが、合議制であるECBの政策決定への影響は限定的と考えます。

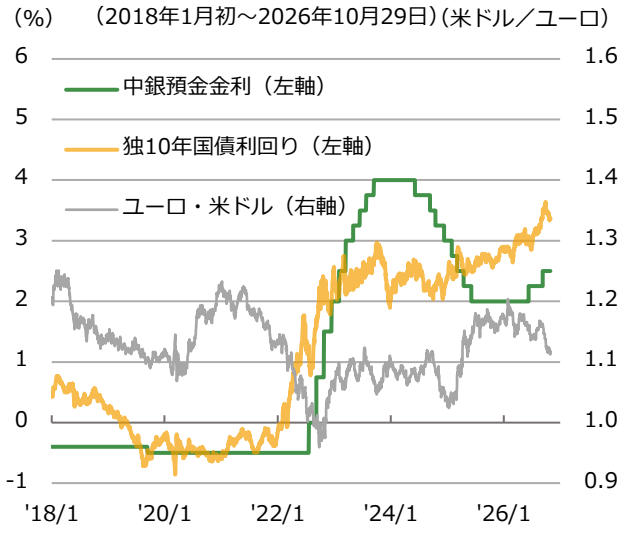
ユーロ圏の消費者物価指数



※コアは食品・エネルギー・アルコール・タバコを除く系列

（出所）欧州統計局

ユーロ圏の金利と為替



※中銀預金金利は発表日ベース

（出所）ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

■当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。

■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。